

定期報告（ウルグアイ内政・外交：2019年7月）

1 概要

【内政】

●各党の副大統領候補が出そろい、与党F Aは、ビジャー前モンテビデオ県議会議員、野党コロラド党はシルバ前国家教育局（A N E P）中央教育審議会評議員、野党国民党はアルヒモン国民党執行委員会委員長となった。

●世論調査機関R a d a r社が大統領選挙の投票動向調査結果を発表したところ、各党大統領候補に対する支持率は、与党F A・マルティネス候補（35.5%）、野党国民党・ラカジェ・ポウ候補（22.6%）、野党コロラド党・タルビ候補（19.5%）、マニーニ・リオス元陸軍司令官（9.5%）となった。

●23日、世界製紙大手のUPM社（フィンランド）が、ドゥラスノ県において、ウルグアイにおける2番目の工場の建設を決定した旨発表した。総投資額は、約2,700億円。

●26日～28日、与党拡大戦線（F A）のムヒカ前大統領、アストリ経済財務大臣、マルティネス大統領候補が相次いでベネズエラは独裁だと発言した。

●31日、マリア・アウクシリアドーラ・バスケス大統領夫人が心筋梗塞により急逝した。

【外交】

●8日～12日、モンテビデオにおいて、第3回メルコスール韓国F T A交渉が実施された。本件交渉は2020年中頃にも妥結する見込。

●9日、ベルガミノ外務次官及び黄駐ウルグアイ韓国大使は二国間の社会保障協定に署名した。

●9日～10日、ニン・ノボア外相はパラグアイを訪問し、ベニテス大統領、カスティグリオーニ外相と会談した。

●16日～17日、バスケス大統領はアルゼンチンを訪問しメルコスール首脳会議に出席した。

2 本文

【内政】

1 大統領選挙各党副大統領候補

5日、与党F Aの大統領選挙候補者であるマルティネス前モンテビデオ県知事は、副大統領候補をビジャー前モンテビデオ県議会議員（女性）とする旨発表した。

7日、野党コロラド党の大統領選挙候補者であるタルビ前C E R E S研究部

門長は、副大統領候補をシルバ前国家教育局（ANEP）中央教育審議会評議員（男性）とする旨発表した。

なお、野党国民党の大統領選挙候補ラカジェ・ポウ上院議員は6月30日に、アルヒモン国民党執行委員会委員長（女性）を副大統領候補とする旨発表済。

2 大統領選挙世論調査

世論調査機関Radarr社が大統領選挙の投票動向調査結果を発表したところ、主要候補に対する支持率は以下のとおり。

- (1) マルティネス前モンテビデオ県知事（与党拡大戦線（FA））：35.5%
- (2) ラカジェ・ポウ上院議員（国民党）：22.6%
- (3) タルビ前CERES研究部門長（コロラド党）：19.5%
- (4) マニーニ・リオス元陸軍司令官（カビルド・アビエルト党）：9.5%

3 UPM第2工場建設の決定

23日、世界製紙大手のUPM社（フィンランド）が、ドゥラスノ県において、ウルグアイにおける2番目となる工場の新設を決定した旨発表した。工場新設計画のための総投資額は、2,700億円で、多くの雇用を生み出すことが期待されている。同工場とモンテビデオをつなぐ鉄道整備も予定されている。

4 与党有力者によるベネズエラに対する発言

26日～28日、与党拡大戦線（FA）のムヒカ前大統領、アストリ経済財務大臣、マルティネス大統領候補（前モンテビデオ県知事）が、相次いでベネズエラは独裁だと発言した。なお、ここ数ヶ月、FAの有力者、ウルグアイ政府高官等に対し、ベネズエラは独裁国家か否かという質問が踏み絵として記者団から執拗になされてきたものの、ベネズエラを独裁国家と形容することは避けてきていた。

5 大統領夫人の急死

31日、マリア・アウクシリアドーラ・バスケス大統領夫人が心筋梗塞により逝去した。ウルグアイ政府関係者、外交団、与野党指導者等はモンテビデオ市内に設けられた弔問会場において続々と弔問を行った。同日午後、同夫人は生まれ育った地区にある墓地に埋葬された。

【外交】

1 第3回メルコスール韓国FTA交渉

8日～12日、モンテビデオにおいて、第3回メルコスール韓国FTA交渉

が実施された。両者の首席交渉官は、幅広く包括的で昨今の国際貿易の規制を反映した合意により、本件交渉は2020年中頃にも妥結すると見込んでいる。

2 韓国との社会保障協定の署名

9日、ベルガミノ外務次官及び黄駐ウルグアイ韓国大使は、ムロ労働社会保障大臣立ち会いの下、二国間の社会保障協定に署名した。韓国はウルグアイにとって社会保障協定を締結したアジアで最初の国となった。

3 ニン・ノボア外相のパラグアイ訪問

9日、ニン・ノボア外相はパラグアイを訪問しベニテス大統領を表敬した。

10日、ニン・ノボア外相はカスティグリオーニ外相と会談した。会談後、両者は、①自由な人の移動のための永住権に関する合意、②両国外務省間の外国における自国民への領事協力に関する覚書、③外交官、領事、事務、技術要員の家族による報酬を伴う活動の実施に関する合意、④外交官学校間の協力に関する覚書へ署名した。

4 バスケス大統領のメルコスール首脳会議への出席

16日～17日、バスケス大統領は、アルゼンチン・サンタフェを訪問し、メルコスール首脳会議に出席した。

【要人往来】

○往訪

- 9日～10日、ニン・ノボア外相のパラグアイ訪問
- 16日～17日、バスケス大統領のアルゼンチン・サンタフェ訪問。